



272

小学校高学年  
中学生向け  
年組

2025年7月26日付・下野新聞1面

県文書館

常設展リニューアル



平和のかたち  
とちぎ戦後80年

県文書館は25日まで、保存する歴史資料の常設展をリニューアルした。太平洋戦争中に疎開先の一つだった、那須烏山市の安楽寺から昨年寄贈された史料を中心とした「文書で見る栃木の疎開」を戦後80年の節目に合わせて設けるなど、三つのテーマで構成した。

安楽寺は1944年、

疎開に関する史料などが並ぶ常設展。県文書館

## 寄贈史料中心に疎開の一端紹介

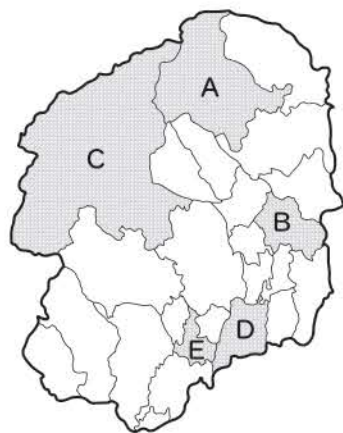
現在の東京都文京区にあった誠之国民学校の2、6年生70人と引率教員2人の疎開先になった。常設展では、寺に宛てた児童の保護者からの礼状や、終戦後に焼け野原となった連合国軍総司令部（GHQ）統治下の東京の様子を書かれた児童の手紙など、史料9点を並べ、本県に関する疎開の様子の一端を紹介している。

別の2テーマのうち「小宅雄次郎家文書―描かれた幕末期の日本―」では、幕末の真岡市の文人小宅文藻が描いた史料を中心に展示する。小宅家から寄託された巻物には、ペリー来航時の兵隊の様子や着衣が詳細に彩色で描かれている。約12枚あり、4カ月ごとに展示部分を変えていく。「江戸時代―文書の時代―」では、多くの記録文書が残されるようになった江戸時代に、武士や町人、農民らが作成した文書を紹介している。10月ごろまでの期間限定で3代将軍徳川家光が1649年に下野市の開雲寺に宛てた朱印状も展示している。

（佐藤駿）

## 設問

【1】この記事の中から栃木県の地名を三つ探し、その名前と場所を地図から選び記号で答えましょう。



| 地名 | 場所 |
|----|----|
|    | 市  |
|    | 市  |
|    | 市  |

【2】記事の「三つのテーマ」について表にまとめました。いつごろの資料なのかをヒントに、テーマ名と主な内容を次から選び、記号で答えましょう。

| テーマ名 | いつごろの資料なのか | 主な内容 |
|------|------------|------|
| (1)  | 1944年ごろ    | (4)  |
| (2)  | 幕末         | (5)  |
| (3)  | 江戸時代       | (6)  |

(A) 江戸時代―文書の時代― (B) 文書で見る栃木の疎開 (C) 小宅雄次郎家文書―描かれた幕末期の日本― (D) 武士や町人の作成した文書 (E) 児童の手紙や保護者の礼状 (F) ペリー来航時の兵隊の様子や着衣

【3】「三つのテーマ」の中で、一番新しいものはどれでしょう。記号で答えましょう。

(A) 江戸時代―文書の時代― (B) 文書で見る栃木の疎開 (C) 小宅雄次郎家文書―描かれた幕末期の日本―

【4】皆さんは、どの資料を見てみたいですか。家族や友達と話し合しましょう。県内には多くの博物館や資料館があります。機会を見つけて県立文書館や他の博物館、資料館へ見学に行ってみましょう。